

A：本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

**【園関係者】**

**1. 遊びの楽しさと広がり**

- ・グループで動きを考える時間が楽しく、「投げる」という一つのテーマから多様な遊びに広がることを実感した。
- ・投げる動作だけでも多くの動きがあり、簡単な遊びの中で様々な動きができることに気付いた。

**2. 保育者の意図と子どもの発想の重要性**

- ・子どもの「楽しい」という気持ちから活動がスタートすることを基本に、保育者は意図やねらいをもって活動を進めていくことが大切だと再確認した。
- ・「教える」よりも子どもの発想を生かし、楽しんで活動することで様々な動きの習得が早いことを学び、運動遊びでもその視点を大切にしたいと思った。

**3. 幼児期から小学校へのつながり**

- ・園で育んできた動き（体の使い方）が小学校でも継続されることを知り、幼児期の活動の重要性を再認識した。
- ・遊びの中で偏りなく多様な動きを取り入れることで、子どもの育ちの可能性が広がることを理解した。

**4. 苦手な動きへの配慮と工夫**

- ・学年によって苦手な運動があるため、保育の中で子どもが遊びを作り出す中で苦手を補える工夫をしたいと感じた。
- ・保育では遊びを通じて力を伸ばすことが重要だと考えた。

**【小学校関係者】**

**1. 評価への気付きと反省**

- ・無意識に子どもたちの動きに洗練さを求め、評価してしまっている自分に気付いた。
- ・子どもの一挙手一投足に「無意識の評価」を下していることを反省した。

**2. 遊びと運動の本質**

- ・遊びは奥が深く、型にこだわらず運動を好きにさせることが大切だと感じた。
- ・子どもが「楽しんでいるか」ということに注目しながら活動を進めたいと思った。

**3. 体験の重要性**

- ・子どもは「感じてこそ知識につながっていく」ということが分かり、体験することや体を使うことが大事だと改めて感じた。

**4. 基本動作の重要性**

- ・「基本動作を偏りなく」という考えを、より細かく捉える必要があるということを理解した。

**5. 幼児期の基本動作と小学校へのつながり**

- ・幼児期に偏りなく多様な動きを取り入れることの重要性を再認識した。
- ・幼児期の多様な動きが小学校の体育につながることを理解し、体育での「どの運動につながっているのか」ということを、改めて見直していきたいと感じた。

B：本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

**【園関係者】**

**1. 子どもに対する観察力を高める**

- ・子どもの気づきや何気ない一言に注目し、成長のチャンスを逃さないようにしていきたい。
- ・観察する力を身に付け、子どもの発想や発信を大切にしたいと思った。

**2. 楽しい運動遊びの充実**

- ・体を動かす楽しさを味わえるよう、たくさんの楽しい運動遊びを取り入れていきたい。
- ・遊びの中で運動の基礎をつくることを意識していこうと思う。

**3. 様々な動きを取り入れた活動の工夫**

- ・苦手な動きを補えるよう、様々な動きを取り入れた活動を工夫していきたい。
- ・子どもたちにとって不足している経験を担任間で話し合うことで明確にし、保育の中に計画的に多様な動きを取り入れていきたい。

**4. 保育者の意図をもった援助**

- ・子どもの発想を生かしながら、保育者が意図をもって心身の発達を促す援助を行っていきたい。

**5. 園での実践と小学校への接続**

- ・今回教えていただいた具体的な事例、内容を自園で試していきたい。
- ・保育の中で多様な動きを経験できるようにし、小学校へのつながりを意識した取組を進めていきたい。

**【小学校関係者】**

**1. 授業の多様化と工夫**

- ・運動遊びの授業に、さらに多様性を取り入れていきたい。
- ・投げ方の工夫だけでなく、目標物や道具を変えるなど、活動の幅を広げる工夫をしていきたい。

**2. 楽しい授業づくり**

- ・子どもが楽しめる授業を目指し、遊びの要素を取り入れていきたい。

**3. 子どもの発想を生かす**

- ・子どもから発信される身体の動かし方を肯定的に受け止め、授業に生かしていきたい。
- ・3学期の鬼遊びなどで今日の学びを実践していきたい。

**4. 学びの共有と授業の見直し**

- ・今日の研修で学んだ内容を教職員に伝え、学校全体で取組を広げていきたい。
- ・自校の体育授業を改めて見直し、指導者側が子どもたちに「どんな力をつけさせたいのか」ということを意識して、授業を構成をしていこうと思う。